

北海道大学 大学院工学研究院 材料科学部門主催  
日本金属学会・北海道支部後援

# 第 101 回マテリアルセミナー

下記の要領で第 101 回マテリアルセミナーを開催いたします。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 記

日時：平成 29 年 3 月 4 日（土）15:00～17:00

場所：北海道大学 工学部 B-11 講義室

講師：毛利哲夫 教授 東北大学 金属材料研究所

題目：再び材料数学へ

**概要：**この数年間、計算物質科学、計算材料科学と共に歩み続けた者として、計算材料科学の現状を紹介する。その上で、この分野の基礎としての「材料数学」の意義について思うところを話したい。

大規模計算が発展すればするほど、計算機のパワーを使って「見えないものを視る」よりも、粒度や精度は劣っても、数学を駆使して大局的に「観る」ことの意義が忘れられがちである。名前が先行し、定着されないままに、「材料数学」は浮遊しているような気がする。数学の大きな意義は、高度に抽象化することで、より具象化が可能になることだと思う。この具象化とは、物性科学、分子科学、機械科学などとは異なる学問分野としての材料科学にあって、なおかつ、多分野・異分野との連関を明快にするということである。

連絡先：北海道大学 大学院工学研究院 材料科学部門  
三浦誠司、大野宗一

E-mail: [mohno@eng.hokudai.ac.jp](mailto:mohno@eng.hokudai.ac.jp)

内線 6344